

# 地域自慢 38

白銀地区

大切な家族・地域を守るために  
～防災(大津波避難)訓練～

白銀地区で行われている「防災(大津波避難)訓練」について、白銀地区自主防災会の松本征勝会長、<sup>まつもとゆきかつ</sup>白銀振興会の荒川繁信会長、<sup>あらかわしげのぶ</sup>大浦廣副会長にお話を伺いました。

## ○防災(大津波避難)訓練について

白銀地区自主防災会は、平成22年に白銀振興会の60周年を記念して設立されました。平成23年の東日本大震災で白銀地区内浜通りも被災しましたが、震災翌年の平成24年には、自主防災会として初めての防災訓練を実施しました。家族や地域を守りたいという思いで、皆さんが積極的に取り組んでくださいました。

## ○被災を教訓に

訓練は、震災の体験をもとに大津波避難を想定して、浜通り6町内を対象に実施しています。リヤカーを用いた要援護者避難体験、婦人部による炊き出し、消防士が指導するAED体験などです。

## ○継続は力なり

訓練を重ねるごとに、避難者の動き方や受け入れ体制が良くなってきていると感じています。

一方、課題も見えてくるため、みんなで話し合い、改善を図っています。

例えば、要援助者の避難手段を車椅子からリヤカーへ変更することで、限られた人員と時間でスムーズに避難できるようになりました。

今後も、自分、そして大切な家族の命は自分たちで守るということを呼びかけ、東日本大震災を風化させないよう、防災訓練を続けていきたいと思っています。



白銀地区の防災  
(大津波避難)訓練  
岡白銀公民館  
☎33-1633